

防 除 情 報

長崎県病害虫防除所長

平成18年度病害虫発生予察防除情報第11号

きゅうり ベと病、うどんこ病、褐斑病、コナジラミ類の
防除対策について

2月上旬の巡回調査の結果、下記病害虫の発生量が平年に比べ多い状況です。今後、発生拡大が心配されますので、下記の点に留意して防除指導をお願いします。

記

1. ベと病

(1) 発生状況

2月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病葉率は11.3%(平年4.4%)、発生圃場率は58.3%(平年37.8%)であった。

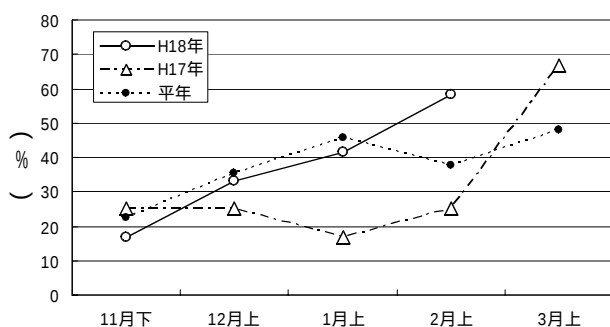


図 きゅうり ベと病発生圃場率の推移

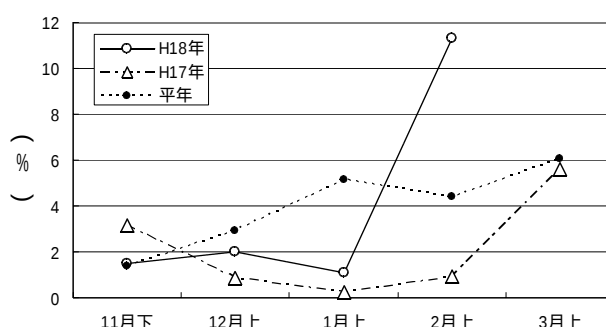


図 きゅうり ベと病発病葉率の推移

(2) 防除対策

- ア 病勢が進行すると防除困難となるため、早期発見・早期防除に努める。
- イ 하우스内では換気に注意し、多湿を避ける。
- ウ 樹勢が弱ると発生しやすいので、肥切れにならないよう肥培管理に注意する。

2. うどんこ病

(1) 発生状況

2月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病葉率は9.4%(平年4.4%)、発生圃場率は75.0%(平年48.5%)であった。

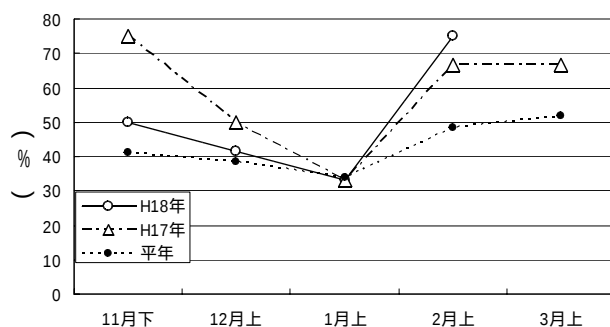


図 きゅうり うどんこ病発生圃場率の推移

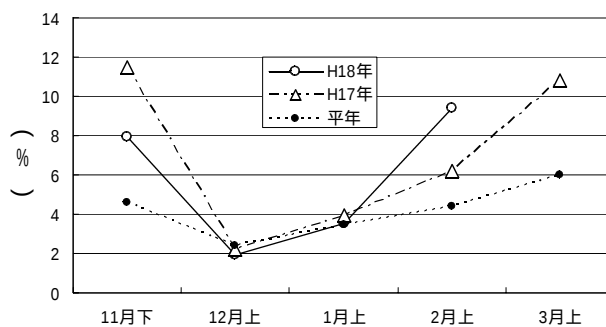


図 きゅうり うどんこ病発病葉率の推移

(2) 防除対策

ア 病勢が進行すると防除困難となるため、早期発見・早期防除に努める。

イ 薬剤耐性菌を生じる恐れがあるので、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。

3. 褐斑病

(1) 発生状況

2月上旬の巡回調査(12筆)の結果、発病葉率は4.6%(平年0.9%)、発生圃場率は50.0%(平年16.6%)であった。

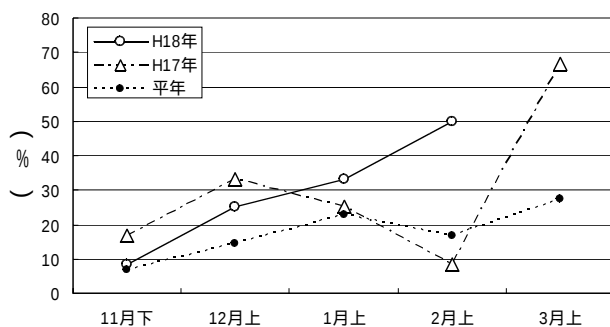


図 きゅうり 褐斑病発生圃場率の推移

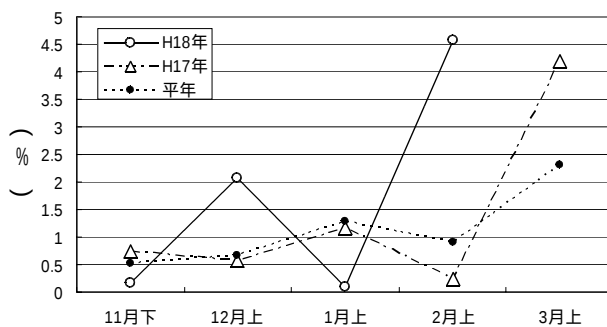


図 きゅうり 褐斑病発病葉率の推移

(2) 防除対策

ア 病勢が進行すると薬剤による防除は困難であるため、早期発見・早期防除に努める。

イ 病斑は伝染源となるため、発病部や下位の老化葉は取り除きハウス外に持ち出して処分する。

ウ 多湿条件では発生を助長するので、換気に注意し、できるだけ室温を30以下に下げる。

エ 窒素過多は発生を助長するので、適正な肥培管理に努める。

4. コナジラミ類(外コナジラミ類、オシロイコナジラミ)

(1) 発生状況

2月上旬の巡回調査(12筆)の結果、寄生葉率は4.4%(平年1.4%)、発生圃場率は58.3%(平年18.5%)であった。

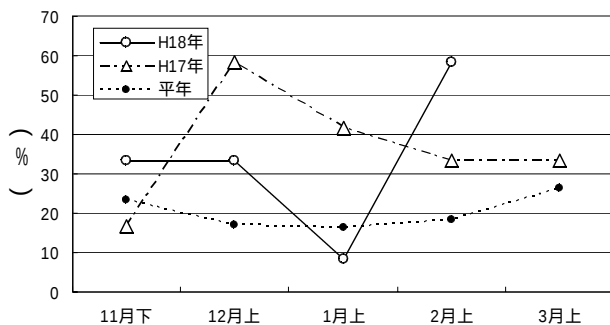


図 きゅうり コナジラミ類発生圃場率の推移

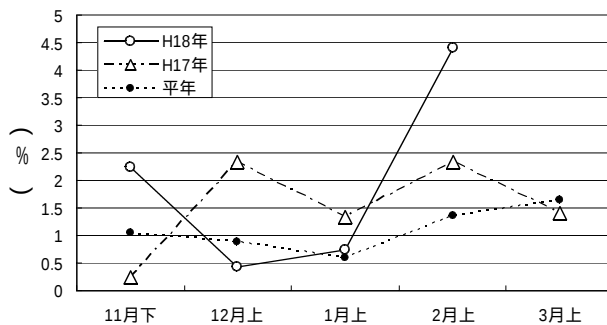


図 きゅうり コナジラミ類寄生株率の推移

(2) 防除対策

ア 多発すると薬剤の効果が上がりにくいので、黄色粘着板などを利用して発生状況を把握し、早期発見・早期防除に努める。

イ ほ場周辺や施設内の雑草は、生息場所になるので、除草する。

ウ 薬剤は、抵抗性の発達を防止するために、異なる系統の薬剤をローテーション散布するとともに葉裏に薬剤が付着するよう丁寧に散布する。

○ 病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「防除所ホームページ」 アドレス：<http://www.jpnp.ne.jp/nagasaki/>

○ 「防除所ホームページ」を利用して、ながさき農林業総合情報システム(一部会員制、アドレス：<http://www.n-nourin.jp/>)やその他の情報を閲覧することができます。

○ この情報に関するお問い合わせは、電話またはEメールでお願いします。

長崎県病害虫防除所 TEL: 0957-26-0027, Eメール: kngs0301@sp.jpnp.ne.jp